



NPO法人 国際社会人剣道クラブ中国地区クラブ会報
INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

第222号 2019(令和元)年12月発行

中国地区クラブ会長 湯村 正仁

発行責任者 幹事長 金尾 静一

事務局：〒720-0017 広島県福山市千田町2丁目13-33-1

携帯電話：090-4897-8014 FAX：084-955-6023

E-mail：kanao-0522@amethyst.broba.cc

事務局長 岩田 啓司

携帯電話：090-8600-0140 E-mail：iwata@dainana-ad.co.jp

正心

SEI

SHIN

特定非営利活動法人 国際社会人剣道クラブ H.P <http://www.npo-igkc.or.jp>

2019(平成31・令和元)年の終わりにあたって

2019年は、一文字漢字『令』で表現されました。平成天皇の生前退位により、5月1日に「平成」から「令和」時代へと新しい時代の幕開けです。『令和』は、英訳で「Beautiful Harmony(美しい調和)」です。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められております。我々剣道人の心に相通じるものを感じます。しかし、令和元年は、残念にも全国的に人間性を疑う事件・事故、そして歴史的な災害・災難等の災厄の多い激動の年となりました。

当クラブの2019年事業運営は、12月忘年例会(in三次市)を最後に、全て無事故で無事終了する事が出来ました。これも、会員皆様の絶大なるご理解とご協力の賜物と深謝申し上げます。

2019年の当クラブの活動では、①中国地区クラブ会員数60名達成。(12月現在)。②剣道昇段者：七段合格者は4名。四段合格者は、1名でした。また、剣道称号取得者：「教士」号は1名。「錬士」号は2名でした。③海外親善交流事業への参加者も徐々に増えて参りました。ラトビア他：3名参加。台湾：6名参加。韓国：5名参加でした。④11月に福岡県久留米市で開催された全国例会・国際親善剣道大会は、18名の参加者。名刺交換・協賛金参加者は、9名でした。団体戦での入賞は出来ませんでした。個人戦では、女子の部にて「平岩先生、岩崎先生」が3位に輝きました。

さて、大変に残念な出来事では、IGKC本部及び中国地区クラブの再建において、最大の功労者であり、IGKC本部の前理事長であられた顧問：赤松和人先生(広島県福山市)は、闘病生活にも負けず剣道形の稽古にご精武されておられましたが、6月28日に享年75才でご逝去されたことです。謹みて哀悼の意を表します。また、元IGKC本部会長であられた名誉会長：野正豊稔先生(範士八段)におかれては、11月22日にご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

最後に、この1年に感謝申し上げるとともに、新年は更なる会員増強等により更にクラブの充実化と活性化に努めてまいります。何卒、引続きご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

では、会員の皆様におかれましては、ご健勝で良き新年をお迎えください。

中国地区クラブ 幹事長 金尾静一

【第222号の主な事項】

- ① 令和元年度1月例会(新年例会)は、2020年1月18日(土)～19日(日)、広島県安芸郡海田町にて開催予定です。なお、参加/不参加の連絡は、**1月10日(金)まで**。期日厳守!!
- ② 会員拡大に向けて、会員ひとり一人のご協力を願います。
- ③ 今年度の年会費未納の方は、速やかにお納め下さい。
- ④ 今月の「会員だより」は、大石義英先生(山口県下関市)です。



令和元(2019)年度 12月例会『忘年例会』=広島県三次市=のご報告

【12月忘年例会】

12月例会は、12月14日(土)～15日(日)、小雨の中で寒さを感じながら、広島県三次市「東酒屋体育館」にて開催しました。

会場の東酒屋体育館は、車のナビではなかなか辿り難いロケーションであり、皆さん迷いながら到着されたようでした。

14時20分過ぎには、やっと全員集合。会員22名、地元剣士5名の総勢27名が参加。14時25分過ぎから、若手の松田先生の号令により準備体操・素振りを行いました。素振りでは、上下素振り・面素振りに続き、今では恒例となった「股割り素振り」を数10本。少し腰が高い感じではあるが、苦にすることなく熟していました。



【剣道形稽古】

例会第1日目(12/14)。剣道教士八段森先生の指導により、早速剣道形稽古に入りました。形稽古開始前に、森先生から、太刀7本の留意すべきポイント「①正しく部位を切ること。(事例として、一本目は柄もろとも切り落とす大技である。二本目は、小手の右側ではなく、しっかりと的確に小手を打つ。三本目は、形のみでなく踏み込みながら水月をしっかりと突く。四本目は、右肺をしっかりと突く。と解説を頂く。)②肩で振ること。③後ろ足を必ず引き付けること。」をしっかりと行えば、より迫真性・重厚性が出てくると解説・実技指導をいただきました。続いて、金尾幹事長の号令により、太刀7本を行いました。そこで、一旦中止・集合し、森先生から「①帯刀時、剣先を下げること。柄頭はへその前当たりの位置すること(刀は鍔が中心)。②一本目は、上段時の左拳の位置は前頭。握りは、3本の小指中心で握る。しっかりと攻めの気・姿勢で行う。打突時、剣先に反動をつけない。③二本目は、小手を打った時、剣先は小手の高さよりやや低くなる。④三本目は、打太刀が仕太刀の突きを鎧で押さえる時、打太刀の剣先を咽喉部につけて中心より外れない。⑤四本目は、右肺が見えた時突く。⑥五本目は、一拍子で面を鎧で摺り上げ正面を打つ。⑦六本目は、打太刀は、間髪入れずに小手を打つ。⑧7本目は、気当たり強く。」と指導をいただき、続いて、小太刀3本について、①一本目は、左鎧で受け流して正面を打つ。②二本目の小太刀は、太刀を制して攻め入り、打太刀が脇構えとなるので、剣先を喉元につける。面打ちに対して、小太刀は右手を突き上げる要領で受け流す。③三本目は、面打ちに対して小太刀は、摺り上げて右斜めに摺落す。胴に対して摺り流し摺り込む。」と形の基本的事項について実技指導をいただき、続いて太刀7本、小太刀3本を通して相互に行いました。終了後、森先生から「小太刀3本目において、摺り上げ摺り落としが出来ていない。摺り上げて握ねている。握ねないで下さい。」と指導をいただきました。



【森先生指導による形稽古模様】

本例会では、12組が横一線で形稽古を行いました。ただし、12組が形を行うスピードは一斉に揃う場面は殆どなくバラバラであり、早く行う組と遅く行う組では結構な時間差がありました。(15:30頃終了)

==シッカリ合気となり適正な時間での打ち方も必要であると感じました。==

【記念撮影・座礼・記念品贈呈・名札贈呈・新会員紹介】

15時40分、参加者全員で記念撮影を行い、その後、座礼に入りました。

湯村会長から開会の挨拶「11月は、全国例会があり、地区クラブ例会は2ヶ月振りです。楽しくやりましょう」といただきました。続いて、今回は以下のとおり嬉しい報告事項が沢山ありました。

- ◆11月愛知県剣道審査会において、寺本昭彦先生(広島市)、井上雅史先生(東広島市)は、見事『七段』に合格されました。

湯村会長から、参加の寺本先生に記念品を贈呈しました。(⇒井上先生は欠席でした。)

寺本先生からは「稽古に励み、本当の七段を目指します！」とお喜びの決意表明がありました。

- ◆11月三次地区昇段審査会において、前原由和先生(福山市)は、『四段』に合格されました。前原先生には、更に上段を目指し更なるご精武に励んでいただくことを願い、参加者全員による大きな激励の拍手をお贈りしました。

- ◆12月東京で行われた剣道称号審査会において沖田和清先生(広島市)が『教士』号に合格されました。古澤誠先生(広島市)と森田真智子先生(米子市)は、『錬士』号に合格されました。

沖田先生から、お喜びの一言をいただきました。(⇒古澤先生と森田先生は欠席でした。)

- ◆今年度入会されました、森治輔先生(広島市)、奥野知成先生(安芸郡)、中尾献先生(広島市)には、湯村会長から「IGKC名札」を贈呈しました。

- ◆入会后、初めて例会参加された、奥野知成先生(江田島市)、中尾献先生(広島市)、川崎康裕先生(広島市)をご紹介いたしました。3名の各先生とも、「例会に参加し稽古を頑張ります！」と力強く決意表明をされました。

- ◆11月、久留米市で開催された全国例会(第16回国際親善剣道大会にて)にて、女子の部では、平岩香織先生(広島市)と岩崎美穂先生(広島市)が、見事『3位』に入賞されたことをご紹介しました。

- ◆12月現在、当地区クラブの会員数60名を達成しました。



【稽古】

はじめの15分程度は、切り返し・基本打ち・周り稽古を行いました。湯村範士は、周り稽古の終わり頃には参加をされ、参加者が驚く状況でした。続いて、指導稽古・お互い稽古に移りました。講師陣は、湯村範士八段、森教士八段の両先生です。

何時ものことですが、指導稽古の順番取りは、やはり“私が一番に！”と競争ですが、若い剣士は、面着装が早く、元気いっぱい飛び出し、両先生に指導稽古をいただいております。また、順番待ちも若い剣士の並びが早い。高齢の剣士は、着装・準備に少し時間が掛かっていたようでしたが、お互い稽古では、地元剣士5名の参加があり、初めて剣を交える緊張感・新鮮さを感じながら、普段とは少しイメージが異なる攻め合い・打ち込みに積極的に取り組んでいました。

湯村範士、森教士の指導稽古では、何とか一本を求め、攻め入り果敢に掛かって行くが、簡単ではありません。間合い・打とうとする兆しを見極められ、ポンと打たれる。ついには力みも増して息も上がってきておりました。稽古をいただいた皆さんは、納得と反省！それぞれ課題を自覚されたことと思います。

やはり、講師陣には両先生の参加をいただき、そして若い参加者も多く地元剣士の参加もあり、参加者総数 25 名規模となると、稽古会場全体に緊張感や熱気を感じるとともに充実した稽古が出来ました。

16 時 50 分、稽古を終了。第 1 日目の終了にあたり、湯村会長からは「美しい剣道と守・破・離について」貴重なお話をいただきました。「美しい剣道は、誰にとっても憧れであり、目標である。この美しい剣道に至る一番の近道は「基本に徹した剣道」を心がけることである。この目標をしっかり見つめて外さないことである。試合に勝ちたい！上の段位を取りたい！いろいろ誘惑は多いが、これらの迷いが道を複雑にして、基本から外れる元となる。美しい剣道は、基本に則した剣道で構成される。では、基本とは、何を基準すればよいのか？最も基本的な事項としては、(財)全日本剣道連盟が徹底して統一を図っている基本であると思う。それは、八段昇段審査では全剣連が剣道講習会において指導する内容から外れた者は合格してないという実情から伺える。次に「守破離」については、あくまでも私個人の見解であると前置きをされて話されました。「守破離」から考えると、八段合格をもって「守」の段階を卒後と考えても良いのではなかろうか。次の段階の「破離」に至って個々の剣道の美しさが表現されるようになる。高段者の立ち合いは、そのような目で見ていただきたいと思う。私は、今でも基本と「日本剣道形」の指導書を紐解く。その度ごとに新たな着眼点を発見することが出来る。それに従って、自分の剣道を見直し、指導法を工夫する。何が正しいのか？常に基本書に立ち返ってみることが必要である。」とお言葉をいただきました。



【周り稽古】



森先生



湯村先生



【宿泊・懇親会】

稽古終了後は、10 分程度の車移動で宿泊場所のホテル「三次グランドホテル」に到着。シャワーで汗を流すと共に、寒さで冷え切った体も温まりホッとし、19 時から懇親会に移りました。懇親会場は、ホテルから徒歩数分の所にあり、予想外に構えが素晴らしい「むらたけ総本家」にて開催。湯村会長の乾杯で開宴です。何時も感じるが乾杯のビールは最高！！料理とお酒を堪能しながら剣道談議です。お店のお酒はビール・熱燗の注文で、差し入れの酒（焼酎・ワイン・紹興酒）が沢山あり、それぞれのお酒を味わいながら、いろいろな話に盛り上り楽しい時間でしたが、予定の 2 時間となり終了、就寝となりました。

【朝稽古】

例会第 2 日目(12/15)、昨日と同じ会場「三次市東酒屋体育館」にて開催しました。

市関係設備のため、開始時間が体育館の使用規則の関係で少し遅く、朝食後の 9 時 30 分からです。

9 時過ぎには会員 7 名と地元剣士 3 名が集合、昨日の人数より少なめでしたが、地元の先生方も参加していただき、時間まで各自ウォーミングアップ後、時間になり整列、黙想、座礼の後、湯村範士も入っていただき、切り返し、面打 他、を行い。その後、全員で 2 分間の周り稽古（湯村範士には固定で立っていただいた。）。ほぼ全員の先生方と周り稽古が出来、地元の参加の先生方も湯村範士に稽古を頂く事が出来、喜んでいただきました。

体も十二分に温まり、続けて指導稽古開始。廻り稽古で稽古出来なかった先生方に各自が自主的に稽古をお願いされて有意義な稽古が出来ました。終了時間を過ぎるほど熱のこもった稽古が出来ました。

湯村範士からは各自個別にご教授を頂き、充実した稽古内容となりました。

初めての会場でしたが、広くて良い会場で 1 年の締めくくりとして納得した 12 月例会が出来ました。

(報告：岩田事務局長)

【解散】

朝稽古後の 11 時頃解散しました。“良い新年を！”と言葉を交わしながら、帰路につきました。

最後に、今例会の会場確保等にご尽力をいただきました沖田紀明先生

(沖田和清先生のお兄様) に改めて感謝を申し上げます。



- (剣道講師陣) 剣道範士八段 湯村正仁
 剣道教士八段 森 治輔
- (参加会員) 湯村正仁、*石崎雄亮、*岩崎美穂、*岩田啓司、上野和雄、*岡本修司、沖田和清、
 *川崎康裕、奥野武男、*奥野知成、*尾崎貫一、樺山陽介、*小下明人、寺本昭彦、
 *中尾 献、*長末哲夫、*廣畑栄三、船浪 均、*前原由和、*松田 悟、*森 治輔、
 金尾静一
- (ビジター) *沖田紀明先生(沖田和清先生の兄：三次)、*栗原先生(三次)、*田淵先生(庄原)、
 *福留先生(庄原)、*山中先生(三次)、*上田先生(三次)

(※稽古会のみ参加、敬称略、順不同)

(会計報告)	収 入		合計	94,500円
	会費	11,000円 × 6		66,000円
	会費	9,000円 × 1		9,000円
	会費	4,500円 × 1		4,500円
	クーポン券(三次市)	1,000円 × 15		15,000円
	支 出		合計	126,300円
	月例事業費(宿泊費・懇親会費等)			89,800円
	指導陣旅費交通費(湯村範士・森教士)			30,000円
	体育館使用料			5,000円
	御礼(会場準備等)			1,500円
	収支差			<u>△31,800円</u>

△31,800円はクラブ会計から補てんします。

★湯村会長、沖田先生、長末先生からお酒の差し入れをいただきました。

～～美味しいお酒に喉を潤わせていただきました。

感謝！感謝！です。～～

令和元(2019)年度 1月例会『新年例会』=広島県安芸郡海田町=のご案内

令和2年の新年初例会となります。

“1年の計は元旦にあり”。『新たな目標を定められ新たな気持ちで!!』今年もよろしくお願ひします。

(稽古会)

日 時 : 令和2年1月18日(土) 14:30~17:00 (集合時間は14:00です。)

場 所 : 『安芸郡海田町立海田中学校 武道場』 住所: 広島県安芸郡海田町幸町 10-1
 ☎ : 082-822-2258

(宿 泊)

日 時 : 令和2年1月18日(土)

場 所 : 『海田シティホテル』 住所: 広島市安芸区船越南 3 丁目 1-30 ☎ : 082-823-9111

(懇親会)

日 時 : 令和2年1月18日(土) 19:00~21:00

場 所 : 『韓国料理 ヨンミ』 (海田シティホテルから徒歩 5 分程度)

(朝稽古会)

日 時 : 令和2年1月19日(日) 6:30~7:30

場 所 : 『海田警察署 武道場』 住所: 広島県安芸郡海田町つくも町 1-45 ☎ : 082-820-0110

(会費)

概ね 12,000 円程度 (宿泊なし: 懇親会のみは、概ね 5,000 円程度) 当日会場にて。
出欠連絡締切り: **1月10日(金)期日厳守!!** で、例会幹事の **上野和雄先生** まで連絡をお願いします。
連絡先: 上野先生 ☎ (携帯) 090-2292-7921 自宅 E-mail: k.ueno@fch.ne.jp

- ※携帯電話でのショートメールは、60~70 文字程度であれば、安くて大変効率的な連絡手段です。
- ※高齢者の方は、絶対に無理のない運転を心掛け、くれぐれもアクセル・ブレーキの踏み間違いを行わないこと・居眠り運転しないこと等に十分注意され安全運転を励行して下さい。
- ※冬季を迎えます。車にも冬準備をお願いします。積雪・凍結等対策をしっかりと行くとともに、通行等に支障が発生したら早めにご連絡下さい。

令和元(2019)年度 2月例会『年度末例会』=広島県尾道市=のご案内(予定)

2月例会は、2019年度の年度末例会になります。
会場は、山頂に位置しており厳しい寒さですが、稽古後の温泉も最高です!!
日時: 2020年2月15日(土)~16日(日)
場所: 広島県尾道市「尾道ふれあいの里」
例会幹事: 金尾 静一先生

令和2(2020)年度 3月例会『新年度例会』=広島県福山市=のご案内(予定)

3月例会は、2020年度のスタートとなります。
役員会・総会・例会を開催いたします。また、審査研修会も実施予定です。
日時: 2020年3月7日(土)~8日(日)
場所: 広島県福山市「福山市武道館」
例会幹事: 金尾 静一先生

令和2(2020)年度 4月例会『修道大学』=広島県広島市=のご案内(予定)

4月例会は、恒例の「修道大学」です。
日時: 2020年4月18日(土)~19日(日)
場所: 広島県広島市「修道大学」
例会幹事: 岩田 啓司先生・木谷 直俊先生

令和2(2020)年度 国際交流事業について

2020年度国際交流事業は、以下の通りです。
国際交流は、実体験することにより、必ず新たな剣道感を見出せることと思います。
是非、多くの参加をお待ちしております。

- 台湾高雄国際親善剣道大会 期間・場所: 3月20日(金)~23日(月) 台湾(高雄)
参加予定者: 沖田先生、上野先生、小下先生、岩田先生、天田先生、古澤先生、岩崎先生、中尾先生。
- エストニア・ラトビア剣道親善交流 期間: 6月12日(金)~6月22日(月)
参加予定者: なし
- 韓国社会人剣道大会 期間・場所: 7月10日(金)~14日(火) 韓国(ソウル)
- オーストリア・クロアチア剣道親善交流 期間: 10月9日(金)~20日(火)

お知らせ！！(新入会員)

おめでとうございます。川崎先生が12月入会されました。

※川崎 康裕先生(広島県広島市)が入会されました。

- ・氏名 川崎 康裕 (かわさき やすひろ) 先生
- ・住所 広島県広島市
- ・職業 会社員
- ・剣道段位 四段
- ・年齢 47歳
- ・スポンサー 古澤 誠先生 です。

会員の皆様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ！！(剣道称号)

令和元(2019)年11月27日(水)、東京都で行われた剣道称号審査会にて「教士」・「錬士」号に次の先生が合格されました。

「教士」号合格おめでとうございます！！

沖田 和清 先生 (広島県広島市)

「錬士」号合格おめでとうございます。

古澤 誠 先生(広島県広島市)

森田 真智子先生(鳥取県米子市)

引き続き、益々お元気で更なるご精武されることをご期待申し上げます。

お願い！！

1. 12月現在、2019年度年会費の未納入者は2名です。2019年度の会計年度は2月末です。該当の方はお急ぎで納入願います。

2. 新入会員(在住外国人剣士の方も)のご推薦をお願いします。

2019年度より、一部会費の値下げの影響により会費収入が減少、および進む高齢化からの脱却を目指し会員増を図る必要があります。是非、新会員勧誘の”声掛け”の励行をお願いします。

当クラブの2019年度修正事業計画は、総会員数60名(純増8名)をベースで計画をしております。

【各区域目標】広島：4名(★6名達成！！)。岡山：3名(2名入会)。山口：2名(0名入会)。鳥取：2名(0名入会)。島根：2名(0名入会)。の達成を目指します。 =山口・鳥取・島根区域。頑張ろう！ =入会希望者があれば、事務局までご連絡下さい。入会関係資料を送付いたします。

中国地区クラブ会員数 60名(令和元年12月1日現在)

会員だより!!(第35回)

今回は、大石義英先生(山口県下関市)からの投稿です。

大石先生は、広島工業大学生命学部生体医工学科での広島勤務時代(2016年)に、九州地区から中国地区クラブに編入していただきました。

現在は山口県下関市の東亜大学医療学部医療工学科に勤務されておられ、激務の中大分市剣連・下関市剣連においてご精武中です。

現在、剣道教士七段。年齢66歳。やはり九州人です。熱血漢の剣道愛好家です。



【私と剣道】

私が剣道を始めたきっかけは、小学校の時に自宅で4歳上の兄に剣道の構えを教えて貰った事でした。兄は小学校の頃から剣道を習っており、弟に対して面白半分に教えたと思います。その後、素振りを教えて貰い何とか竹刀をふれるようになっていました。

中学に入学すると、兄の剣道の教えから剣道部の門を叩きました。兄が主将の時の1年生が、私が入部した時の3年生となった先輩だったので、兄の七光りと入部したのが私一人だったのこともあり、とても可愛がって頂きました。小学校時代の兄の教えが功を奏し、すぐに剣道具を付け稽古に参加することが出来ました。2年生の夏に初段を取得し、3年生になって主将を仰せつかりました。

高校は兄と同じ進学校の**大分舞鶴高校**に進み剣道部に入部しました。剣道部では東京教育大学出身の監督と同志社大学出身の外部講師の先生に教えて頂きました。しかし、国体選手強化校で強い選手ばかりで私は3年間補欠でした。

大学時代は東海大学に進み、海洋学部の札幌校舎に配属で、高校時代から腰を痛めていたので、すぐには剣道部に入部しませんでした。3年生になり静岡県清水校舎に移り、剣道部の門を叩きました。

工学系の学部だったのですが、先輩方から剣道の厳しさを学び、そこで一生付き合える友を得ました。大学を卒業する頃はオイルショックで就職出来ないために、郷里大分に帰りました。大分では大分県の臨時職員をしながら、高校時代の剣友に誘われ大分で稽古を再開しました。その頃から、自宅近所の平田医院の院長（春風館道場館長：剣道教士）から少年剣道の道場を始めるので手伝って欲しいと言われ、少年剣道指導に参加することになりました。その間、温厚な各先生と武道専門学校、陸軍中野学校卒の故丸崎義男教士に教えを乞うことが出来ました。少年剣道指導は今も続いており約45年以上になります。昭和54年に春風館館長（平田医院院長）から大分市医師会立アルメイダ病院に透析技師（当時）として就職の世話を頂き、昭和62年に臨床工学技士法が公布され、平成元年に国家資格の臨床工学技士を取得しました。爾来、救命救急業務を中心の臨床工学技士として30数年間勤務しました。剣道は少年剣道以外の稽古として、大分市の芳流館道場で多くの先生に教えを頂き、別府玄武館道場では館長はじめ、故若松武彦範士、故環篤範士をはじめ多く先生の薫陶を受けました。そのお陰で昭和61年8月に六段、平成7年11月に七段に合格できました。

国際社会人剣道クラブには、十数年前に大分の芳流館道場で稽古をされていた先生に紹介して頂き九州地区クラブ入会しました。しかし、仕事が救命救急センターの病院勤務で県外に稽古に行く時間が取れないため一時退会しておりました。病院を定年退職後6年前に福岡の大学教員になったため再入会をしましたが、大学教員が思った以上に激務だったので数回しか稽古に行けませんでした。福岡の教員を2年で辞め、1年間の東京勤務、また1年間の広島工業大学生命学部生体医工学科での広島勤務を経て、現在は山口県下関市の東亜大学医療学部医療工学科に勤務しています。広島勤務時代に中国地区クラブに編入しました。福岡時代に左片鍵盤断裂肩となり肩がようやく動くようになりましたが、最近では少年剣道指導ばかりで稽古不足です。

今年7月に中国クラブに所属が変わって始めて月例会に参加しました。そして、11月の全国例会参加を機に当大学の剣道部学生との稽古や中断していた八段受審や京都大会出場を目指して稽古に励みたいと思っております。今後は時間を作って月例会の稽古に伺いたいと思っております。その節は、何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。【記：大石 義英】

座右の銘

定心應変



目指すこと：八段再度受審、京都大会出場